

特集
多彩な授業

探究活動

個人が集中して学習する場面だけでなく、仲間と協力しながら課題を解決するさまざまなタイプの授業を実施しています。その中から、探究活動、スポーツ実習、ICT授業の様子を紹介します。

綾部高校は京都府教育委員会より地域創生・地域連携など地域の活性化に向けた様々なテーマを設定し、探究活動を行う「京都フロンティア校」に採択されています。調査、発表を授業中に行い、選抜された1チーム(本校特進コース2年生7名)が、2月3日(日)京都工芸繊維大学にて「綾部改革～乾坤一擲、綾部の未来へ投じる一手～」と題したプレゼンテーション発表を行いました。

グループを代表して、**杉山 美月**(綾部中卒)さんに、インタビューしました!

- 発表準備で力を入れたことはなんですか?
文字を見やすくすることです。多くの人がスライドを見るので、どこから見ても見やすいように文字の大きさや色を工夫しました。
- 取り組んで難しかったことはなんですか?
情報量が思ったよりも多かったので、要約することが難しかったです。発表を時間内におさめるためにはどうしたらいいか何度もみんなで話し合いました。
- 京都工芸繊維大学での発表はどうでしたか?
いろいろなテーマで多くの高校が発表しているのを見て、実演をして説明する高校やちょっとした劇を取り入れている高校など、様々な発表方法があって勉強になりました。これから先、この経験を活かしていける機会があれば、今回の経験を大切にしていきたいです。

スキー・スノーボード実習



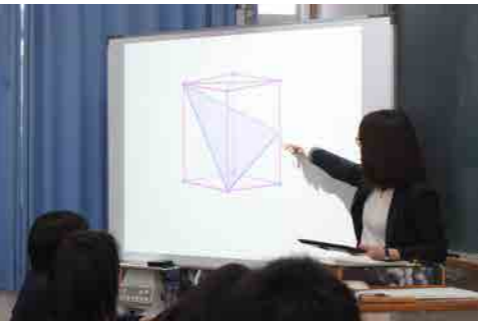
参加生徒の声 眞下 琉希
(バレーボール部・城南中卒)

僕はこの3日間で、大きく成長したことが3つあります。1つ目は、時間を守れました。集合場所に早くから行くのはもちろんで、さらに僕はみんなに声かけができてよかったです。2つ目は、スノーボードが上手なりました。班の手本になり、みんなを引っ張ることができたからです。3つ目は、感謝の気持ちの大切さに気づいたことです。この実習に参加できたのは、親や、たくさんの先生方、現地の人達の支えがあったからです。僕はこの感謝の気持ちが一番大切であり、忘れてはならないことだと、この3日間を通して分かりました。この気持ちは、40人全員が感じていたと思います。この感謝の気持ちを忘れず、今、自分がしていることは、誰のおかげでできたのかを考え、スポーツ専攻らしい生活を送りたいと思いました。



▲京都工芸繊維大学での発表の様子
▼発表者(写真上段左から)清本 未悠さん(六人部中卒)、杉山 美月さん(綾部中卒)、竹市 琴音さん(東綾部中卒)、橋本 奈々さん(綾部中卒)、(写真下段左から)吉田 和加さん(綾部中卒)、中嶋 樹さん(城北中卒)、田中 舞音さん(綾部中卒)

ICT授業
電子黒板やiPadを使って、デジタル教材やソフトウェア等を活用した学習を各教科で実践しています。2月7日(木)に公開授業を行い、多くの方に学習の様子を参観していただきました。



▼電子黒板を使って教材を提示



▲▼iPadを使った調べ学習など



2月7日(木)に本校音楽室にあるドイツスタインベルク社製のグランドピアノがMBS毎日放送テレビ「ちんぷいぷい」で紹介されました。本校のグランドピアノは、昭和4年(1929年)に当時の府立綾部高等女学校校友会・同窓会から昭和天皇の即位記念(御大典記念)として、寄贈していただきました。ドイツスタインベルク社製のグランドピアノは現在、国内には数台しか残っていません。

オリンピック・パラリンピック教育講演会

オリンピック・パラリンピック教育の一環で、本校スポーツ総合専攻の3クラスを対象に、元プロ野球選手の田上健一氏の講演を行いました。自身の生い立ちを振り返りながら、プロ選手になるまでの経緯、そしてプロになってからの苦労や喜びなどを様々なエピソードとともにお話いただき、生徒たちは食い入るように話を聞いていました。最後には、プロ選手時代に使用されていたバッティンググローブやリストバンドを生徒にプレゼントしていただき、受け取った生徒にとって一生の宝物になりました。



国公立大学推薦入試合格!

今年も国公立大学推薦入試で、多数の合格者が出ました。その中から一名、代表してインタビューに答えてもらいました。

岩波 翔也(陸上部・綾部中卒)
京都教育大学 教育学部 学校/教育学 合格

高校生活で力を入れて取り組んだことは、授業で出された宿題や予習をきちんとしたこと、テスト前の勉強に集中して取り組んだことです。テスト前に計画的に勉強すればテストはなんとか乗り切れると思います。学習面以外では、部活動に力を入れました。僕は陸上部で、大会や合宿で得た経験や課題を基に日々の練習の様々な動きに意識をして速く走れるよう頑張りました。また、練習で足りなかった部分は朝の自主練習などに取り組んで技術などを身につけました。大学受験に向けては、大学の情報を調べ暗記したり、教育時事の本や資料を読んで自分の教育に対する知識の幅を広げられるように心がけました。また、担当の先生に面接練習や小論文添削を約2ヶ月に渡りしてもらい万全の準備をしました。試験会場に行く時に電車を間違えて焦りましたが、試験が始まったらお世話になった方々に恩返しができるように今までの成果を出そうと思いました。受けた後は自信は無かったですが力を出し切れたと思いました。後輩のみなさん、周りの子の受験が終わっていく度に不安になる日がくるとはありますが焦らず自分の決めた事を信じて挑戦してください。勉強も大事ですが受験期になる前にやりたい事を悔いなくやって楽しい高校生活にしてください。



▲陸上部での岩波くん

CLUB ACTIVITIES



▼KBS 京都テレビで放映されたようす

京都マラソン題字を書道部が書きました! 2月17日(日)に行われた「京都マラソン2019」の題字を書道部2年の藤井 想来さん(上林中卒)と佐藤 舞花さん(桃映中卒)が書きました。題字は、KBS京都テレビの生中継番組で使用され、また特集番組では、書道部の活動が紹介されました。

